



学 校 だ よ り

目指す学校像

- ☐ 子どもが学びたくなる明るい学校 ☐ 保護者が通わせたい学校 ☐ 教職員がやりがいと誇りを持てる学校
- 西宮市甲子園春風町2番29号 TEL 0798-23-3014 FAX 0798-23-3017

今年の「節分」は2月2日！

1月29日(水)には授業参観・学年懇談会を行いました。ご多用の中、沢山の保護者の皆様にご来校いただき、有難うございました。子供達の学校生活についてご報告できましたことを嬉しく思っております。

さて、暦はもうすぐ「立春」です。「早春賦(そうしゅんふ):吉丸一昌作詞 中田章作曲」という歌の歌詞に「春は名のみ 風の寒さや」とありますが、まさにその通り、来週には寒波到来の天気予報が流れています。学校でも子供達の体調管理に気を付けて過ごしたいと思います。

「立春」の前日は「節分」。学校では、昨日の昼休みに児童生徒会情報・広報委員の生徒から、「今年の節分は2月2日であること」が、全校生に放送されました。来週は、豆まきをしたり、イワシの頭とひいらぎを飾ったりして、校内でも健康や幸福を祈る伝統行事を体験します。「鬼は～外!福は～内!!」子供達、ご家族の皆様、職員の健康と幸せを祈るばかりです。

「にしよう給食展」開催

人が生きるためには栄養摂取が不可欠であることは承知のことと思います。児童生徒の成長を促す「栄養」の摂取は、児童生徒の身体の状態に合わせて様々な工夫が凝らされており、医薬品栄養剤摂取、ペースト食摂取、特別調理食摂取、普通食摂取などにより行っています。

1月23日(木)近肢P連冬季研修会では「子どもの成長・発達を見据えた栄養支援～特別支援学校編～」と題して、尼崎総合医療センター管理栄養士鳥井隆志様の講話を聞きました。鳥井様は一昨年度、本校の学校保健委員会でも「こどもの栄養の整え方」の演題でご講話頂いた管理栄養士です。今回は栄養を摂ることの重要性のみならず、災害時の避難生活も想定した事前準備のポイントを学ぶことができました。「災害時に特定の栄養剤

や食材が手に入らなくなった場合でも柔軟に対応できる身体をつくるためには、普段から様々な種類の食品を摂取し、栄養バランスの取れた食事を心がけること」と学びました。

学校給食はこの重要な観点を踏まえて提供されています。また、本校では「児童生徒の皆に、給食についてもっと興味を持ってもらおう。理解を深めてもらおう。」と本校の給食展が開催されました。栄養教諭を中心に給食委員会が展示物

やBGM作成に協力し、会場設営をしました。各学年、「にしよう給食展」に足を運び、等身大の調理員さんの写真を見たり、給食が出来るまでの動画を見たりしました。「もっかい」と呼ばれる大きな木製のしゃもじで混ぜる体験や、回転釜を回す模擬体験をし、給食について楽しく学ぶことができました。

(校長 原田 綾女)



おおきな「もっかい」



等身大の調理員さん